



個人向け・法人向けインターネットバンキングのAPI提供を通じた オープン・イノベーションの取組拡大について

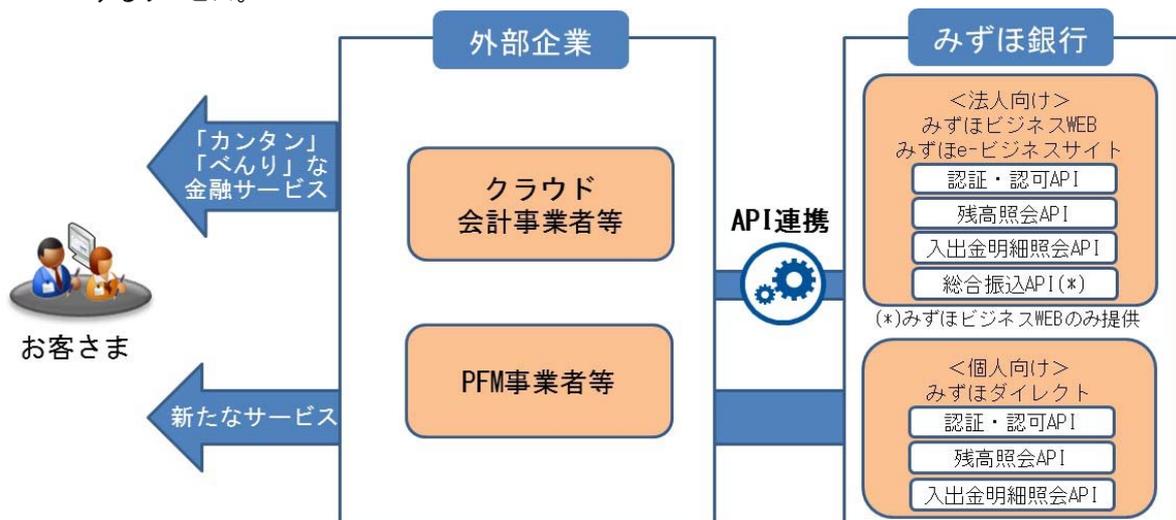
株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）は、法人向けインターネットバンキング「みずほビジネスWEB」の「API^(※1)連携サービス」の提供APIを拡大し、本日より、総合振込APIの提供を開始します。

また、2017年5月を目処に、法人向けインターネットバンキング「みずほe-ビジネスサイト」と個人向けインターネットバンキング「みずほダイレクト」においても、認証・認可、照会メニュー（残高照会、入出金明細照会）のAPI提供を開始し、外部企業（PFM^(※2)事業者・クラウド会計事業者等）とのオープン・イノベーションの取り組みを拡大します。

(※1) Application Programming Interface の略。

外部のサービス等々のシステム連携をするためのプログラムやインターフェース。

(※2) Personal Financial Management の略。銀行や証券、保険など複数の口座情報を集約して一元管理するサービス。



<サービス毎の提供API>

サービス	提供API	提供時期
みずほビジネスWEB	総合振込（総合振込依頼データ作成、および取引状況照会） ※認証・認可、残高照会、入出金明細照会は2016年10月より提供済み	2017年3月28日
みずほe-ビジネスサイト	認証・認可 残高照会 入出金明細照会	2017年5月(予定)
みずほダイレクト	認証・認可 残高照会 入出金明細照会	2017年5月(予定)

※みずほダイレクトアプリの残高照会、入出金明細照会は2016年9月より提供済

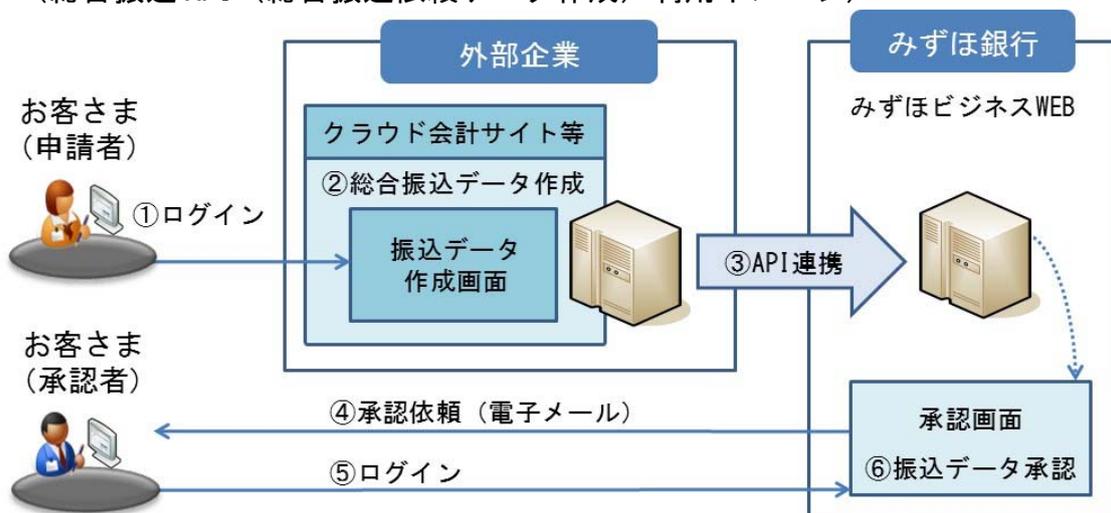
当行が提供する API を利用することで、外部企業は、インターネットバンキング利用者の口座情報等に安全にアクセス^(※3)することが可能となり、PFM やクラウド会計サービスなどの「カンタン」、「べんり」な金融サービスを素早く開発できます。お客さまにとっても、外部企業のサービス上にインターネットバンキングのログイン ID/パスワードを預けることなく、より安全に先進的なサービスを利用することができます。

(※3) 当行が発行する安全なトークンを利用するため、インターネットバンキング利用者のログイン ID/パスワードを預かる必要はありません。

また、「みずほビジネス WEB」の総合振込 API 提供開始により、外部企業は「みずほビジネス WEB」上の総合振込メニューにおける「総合振込依頼データの作成^(※4)」機能をお客さまに直接提供することが可能となり、自社サービスの利便性向上が実現できます。

(※4) 依頼データの承認にあたっては、お客さまが「みずほビジネス WEB」で、承認操作を行って頂く必要があります。

(総合振込 API (総合振込依頼データ作成) 利用イメージ)



当行では、API の提供及び外部企業との連携を通じて、金融サービスの高度化、利用者利便の向上等の実現に資する新たなビジネス・サービスの創出に向けた取り組みを推進していくとともに、今後も、提供 API の拡大を通じて、先進的な決済サービスの開発を進めていきます。

以上